

徳島県高校 優勝野球大会

第8日

8強出そろそろ

全国高校野球選手権徳島大会に代わる県高校優勝野球大会第8日は30日、鳴門オロナミンC球場で2回戦の残り1試合が行われ、生光学園が9-4で池田を破った。8強が出そろい、8月1日午前9時から同球場で準々決勝2試合が行われる。

(木村恭明)

生光学園 序盤で主導権

池田 集中打及ばず

▽回戦

生光学園 9-4 池田
 池田 0-0-1-0-0-0-1-4

【評】生光学園が序盤から主導権を握った。二回、敵失で1点を先制すると、さらに2死満塁から三浦の左前打と斎藤の中越え三塁打で4点を追加。三、六、九回も適時

打に犠飛などを絡めて加点した。池田は中盤に安打を集めて追いついたが、4失策がいずれも失点につながったのが痛かった。

狙って仕留めた

○：生光学園は二、三回に6長短打を集めて7

第8日の成績

▽回戦

生光学園 9-4 池田

得点。二回にレフト前へ2点適時打を放った4番三浦は「相手の先発は直球が多く、狙って仕留め



生光学園対池田 2回表、生光学園2死一、二塁、斎藤が中越え三塁打を打ち5-0とする。鳴門オロナミンC球場(立花善晴撮影)

ることができた。1回戦では序盤に点が取れなかった。この試合で結果を出して良かった」と喜んだ。

中盤に詰め寄られたものの、着実に追加点を奪う勝負強さがあった。六回に中犠飛を放った大野は「逆方向を狙った。最

低限の仕事ができた」と声を弾ませた。一方、右サイドの先発松本は三回まで無安打に抑えながら四、六回に5

安打を浴びて4失点。「最初に飛ばし過ぎた。次からはベース配分に気をつける」と頂点を見据え、反省を口にした。

池田	打	安	点	振	球
③	5	0	0	1	3
⑦	1	3	0	0	1
①	3	0	0	0	0
H	3	2	1	0	1
④	3	2	2	0	1
⑥	4	0	0	0	1
⑤	2	0	0	0	1
⑥	4	0	0	0	1
①	H	1	0	0	0
1	1	1	0	0	1
1	1	0	0	0	1
2	H	2	1	0	0
⑧	2	0	0	1	1
2	0	1	1	3	7
2	0	1	1	3	7
2	0	1	1	3	7

生光	打	安	点	振	球
⑦	6	0	1	1	0
⑥	6	2	1	1	0
④	3	1	0	0	3
③	1	2	2	0	0
③	2	2	2	0	0
①	4	0	0	0	2
H	2	2	2	0	0
⑤	2	2	2	0	0
①	2	4	0	0	0
H	1	0	0	0	0
①	1	0	0	0	0
H	1	0	0	0	0
②	1	0	0	0	1
H	1	0	0	0	1
②	1	0	0	0	1
H	3	1	0	0	1
⑧	3	1	0	1	0
6	0	1	2	3	5
6	0	1	2	3	5
6	0	1	2	3	5
6	0	1	2	3	5

▽三塁打	一松本	二安原	三池田	四斎藤	五斎藤	六斎藤	七斎藤	八斎藤	九斎藤
1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

投手	回	打	安	振	球	責
松本	7	33	6	5	5	3
内井	1	6	1	2	2	0
井	1	3	0	1	0	0
安原	2	15	4	3	3	0
原	2	11	5	1	0	0
山	1	6	1	0	1	1
山	1	6	1	0	1	1
田	3	16	2	1	3	0